



# 06

## 独立行政法人国立病院機構 埼玉病院



卒後臨床研修評価機構認定病院

### 研修プログラムの 特色

基本コース：基本コースでは内科、外科、小児科、産婦人科、救急科、精神科、地域、麻酔科が必修です。救急外来では、年間5,000件を超える救急車の受け入れがあり、そのファーストタッチは研修医が担当します。将来どの診療科に進んでも怖くない救急の知識と度胸が身につきます。また、年間通して抄読会や症例検討会が行われ、国立病院学会、埼玉県医学会その他の学会発表を通して、学会発表の指導も受けられます。

小児科コース・産婦人科コース：小児科または産婦人科希望者を対象としています。4月から主科で研修を開始することで、その後、将来をイメージしながら他科での研修ができるようになっていきます。2年目には大学病院などの専門病院やクリニックで研修し、視野を広げられるようにしています。すでに小児科や産婦人科と決めている方にはお勧めです。

外科コース：将来外科を専門として志望している方を対象とします。他のコースと同様に研修医に必要なプライマリーケアを身につけるのはもちろん、消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、乳腺外科、小児外科の各分野を必修でローテートし、外科の基本手技、知識を習得します。スムーズに外科専門研修に移行でき、専門医取得に大変有利なプログラムです。

基本コース（募集定員 12 名）

プログラム例	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
1年目	内科系（32週）								麻酔科（6週）	外科（4週）	救急科（6週）	小児科（4週）	
2年目	産婦人科（4週）	精神科（4週）	地域（4週）	選択科目（40週）									

○小児科コース：募集定員2名    ○産婦人科コース：募集定員2名    ○外科コース：募集定員2名

### 研修医の 処遇

**給与** 1年次 年間見込 490～579万円（宿日直・諸手当含）  
2年次 年間見込 530～654万円（宿日直・諸手当含）  
**諸手当** 通勤手当  
**保険** 第二共済組合、厚生年金保険、雇用保険、労災保険  
厚生年金基金等企業年金なし  
医師賠償責任保険（病院において加入なし）  
**勤務時間** 8時30分～17時15分  
**当直** あり（4～5回/月）  
**休暇** 有給休暇/年23日（リフレッシュ休暇3日含）  
**宿舎** あり（希望者多数の場合は入居できないことがあります）  
**その他** 健康診断年2回、インフルエンザ予防接種無料  
身分：初期臨床研修医（期間職員）

### 主な臨床研修 協力病院・協力施設

- ・慶應義塾大学病院
- ・日本大学板橋病院
- ・大泉病院
- ・勝海外科
- ・天野医院
- ・菅野病院
- ・秩父市立病院
- ・大塚産婦人科小児科医院
- ・和光病院
- ・朝霞中央クリニック、他

医師数（研修医除く） 175名（うち指導医数40名）  
病床数 550床  
研修医数 1年目18名 2年目18名  
昨年度マッチング受験者数 104名  
研修医の主な出身大学 慶應義塾大学、日本大学、帝京大学、東京大学、北海道大学、札幌医科大学、東京医科大学、北里大学、順天堂大学、東京女子医科大学、杏林大学、東北大学、新潟大学、昭和大学、埼玉医科大学、旭川医科大学、群馬大学、山梨大学、京都大学、東北医科薬科大学、岩手医科大学、その他  
診療科 内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、脳神経内科、内視鏡内科、外科、呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺外科、小児外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、内視鏡外科、精神科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、緩和ケア内科、病理診断科、救急科、総合診療科、歯科口腔外科、血液・膠原病内科

1日平均外来患者数 1222.5名

1日平均入院患者数 419.2名

主な認定施設 日本内科学会認定医制度教育病院、日本がん治療認定医機構認定研修施設、日本循環器学会教育認定施設、日本乳癌学会認定施設、日本老年医学会認定施設、日本緩和医療学会認定研修施設



## POINT! 当院の魅力

### 地域に根ざした中核病院で 一緒に忙しく働きましょう！

埼玉病院は、地域医療支援病院、地域癌診療連携拠点病院、循環器病機関医療施設、肝疾患診療地区拠点病院、地域周産期母子医療センターで、地域の中核病院として機能しています。

2018年には200床の新館が完成し550床の病院となりました。また、2021年に救命救急センターを開設しました。埼玉病院は、常に新しいことに挑戦し続ける病院です。研修医の先生方には埼玉病院の一員として現場第一主義で研修していただきます。

地域を支えるやりがいを感じられる病院です。是非、一度見学にいらしてください。



### 研修責任者 から

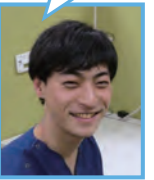


副院長 /  
小児・周産期  
母子センター部長 /  
プログラム責任者  
**上牧 勇**

夜間、休日の救急外来では、2年目研修医を中心として、3～4名の研修医が救急外来の初期対応を担当しています。これは研修の核となる部分で、common diseaseから重症疾患まで上級医の指導を受け初期対応を学ぶことになります。2年間やりきった卒業生たちは、自信をもって専門研修に進んでいます。また、当院は職員家族主義のもと病院全体で研修医教育にあたっています。コミニカルな方からも是非多くを学んでください。

症例検討会、抄読会、学会発表などの機会も豊富で、プレゼンテーションの指導も行っています。熱心な指導とともに研修生活をスタートさせてみませんか。やる気のある皆さんをお待ちしております。

### 先輩研修医 から



研修医1年目(2022年度入職) **山城 一輝**《基本コース》

当院はフレンドリーな先生方が多く、とても研修しやすい病院です。1年目で興味を持った科は2年目の選択期間で再度研修できるのですが、学びたいことに関して要望を出せばその希望が通るよう尽力していただきます。当直は産婦、小児をまわっているときを除いて内科当直に入り、搬送される患者様のfirst touchを行うので様々な手技を経験することが可能です。また、その後上級医の先生がフィードバックをしてくださるのでやりっぱなしがなく、とても勉強になります。電話相談の対応、二次救急の受け入れの可否を決めるのも当直中の業務としてあるため、そういった経験を通し診療力、判断力を磨くことが出来ると日々実感しています。

科を回っていても日常業務で忙しすぎて勉強ができない、といったことはなく、多くの研修医が空いた時間で自己学習を行い研修医同士、切磋琢磨し合っています。ぜひ一度見学にいらして、埼玉病院の雰囲気を感じてみてください。

研修医1年目(2022年度入職) **樋口 藍**《小児科コース》



当院の小児科コースでは子どものcommon diseaseから救急疾患まで幅広く経験することができます。小児当直では上級医の指導のもと、主体的に小児の初期診療対応を行います。研修2年間を通し、継続的に勉強会や小児救急シミュレーションに参加しインプットの機会も多くあります。1年目は内科など広く診療科を回り、2年目は小児科を中心にその他小児科と連携の強い科などを自由に選択でき、2年間で医師としての基礎をしっかり作りつつ小児医療を学ぶことができます。小児科に興味のある皆さんを是非お待ちしております！

### 病院見学、その他イベント・説明会等の情報

- ・病院見学の申込みは、随時受け付けております。病院見学応募申請書兼略歴書を添付の上、事務担当へメールにてお送り下さい。詳しくはHPをご覧ください。
- ・病院説明会は開催が決まり次第、Twitter・HPIにてお知らせ致します。
- ・受験資格として病院見学必須
- ・Twitter：[https://twitter.com/NHO\\_SaitamaHosp](https://twitter.com/NHO_SaitamaHosp)



### 女性医師 支援コーナー

- ・産前休暇(6週間)
- ・産後休暇(8週間)
- ・育児休業制度
- ・院内保育園(0歳から)



連絡先	独立行政法人国立病院機構 埼玉病院 医療支援室 研修医事務担当 佐々木
住所	〒351-0102 埼玉県和光市諏訪2-1
T E L	048-462-1101 (代表)
F A X	048-464-1138
E-mail	sasaki.saya.he@mail.hosp.go.jp
U R L	<a href="https://saitama.hosp.go.jp/">https://saitama.hosp.go.jp/</a>
アクセス	東武東上線 成増駅より東武バス・西武バスともに7分